

# 特集 決算審査

## 令和元年度決算を認定しました!!

9月定例会・10月臨時会で提案された令和元年度決算認定議案については、議長及び議会選出監査委員を除く25名の委員で構成する決算特別委員会（委員長：前田孝人／副委員長：岡野長寿）を設置し、慎重に審査を行いました。

審査の結果は12月7日の本会議で報告し、討論、採決の結果、14議案すべてを認定しました。

### 令和元年度決算額

（単位：万円 ※1万円未満四捨五入）

| 会計名  | 歳入決算額                  | 歳出決算額     |           |
|------|------------------------|-----------|-----------|
| 一般会計 | 688億9,987              | 680億8,428 |           |
| 特別会計 | 港湾事業                   | 2億841     | 1億8,946   |
|      | 国民健康保険事業               | 159億6,808 | 158億4,245 |
|      | 千光寺山索道事業               | 4,157     | 4,157     |
|      | 駐車場事業                  | 1億3,149   | 1億3,149   |
|      | 夜間救急診療所事業              | 6,760     | 6,760     |
|      | 介護保険事業<br>(保険事業勘定)     | 166億7,115 | 164億6,639 |
|      | 介護保険事業<br>(介護サービス事業勘定) | 2,004     | 2,004     |
|      | 漁業集落排水事業               | 2,037     | 2,037     |
|      | 農業集落排水事業               | 3,352     | 3,352     |
|      | 渡船事業                   | 4,562     | 4,562     |
|      | 後期高齢者医療事業              | 23億1,151  | 22億6,312  |
|      | 合計                     | 355億1,936 | 351億2,163 |

（単位：万円 ※1万円未満四捨五入）

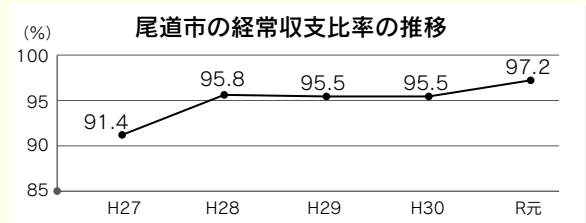
|       | 水道事業会計 | 下水道事業会計  | 病院事業会計   |           |
|-------|--------|----------|----------|-----------|
| 収益的収支 | 収入     | 41億6,477 | 17億7,986 | 136億183   |
|       | 支出     | 38億1,455 | 19億3,794 | 136億9,833 |
| 資本的収支 | 収入     | 4億4,801  | 16億7,155 | 3億2,404   |
|       | 支出     | 15億5,228 | 20億5,152 | 11億626    |
| 特例的収支 | 収入     |          | 1億5,093  |           |
|       | 支出     |          | 7,972    |           |

## 代表監査委員に問う!

**問** 経常収支比率(※)が近年になく高い数値となった要因の分析は。

**答** 歳入では法人市民税の減少が大きく影響したと見ている。歳出では消費税率の改定による負担増や認定こども園運営費負担金などの増による扶助費の増加、合併特例債償還金などによる公債費の増加が影響したものと考えている。

※経常収支比率…人件費や扶助費、公債費など支払う義務のある経常的な経費に、地方税、地方交付税、地方譲与税などの経常的な収入がどの程度充当されているかを表した比率。数値が高いほど財政にゆとりがなく硬化している。



**問** 消費税増税と市民税の減収とはどう関わってくるか。

**答** 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う経済活動の停滞という大きな影響があったため、消費税増税が市民税の減収にどの程度影響したかの分析は困難である。

### 歳入



### 財産収入

**問** 公有財産売り払い等の年間計画を立てているか。

**答** 公有財産利活用検討委員会において、目的の無くなった行政財産の売却処分や他の有効活用を検討し、売却すべきものは、令和元年9月頃に手続きをしている。

### 歳出



### 観光

**問** インバウンド（訪日外国人旅行者）情報発信事業に関わり、予算額と決算額が大きく違う理由と、この事業に対し国の補助金が使えなくなった理由は何か。

**答** 予算要求時より低価格でWi-Fiが設置できたためだが、Wi-Fiの設置をリース契約で行ったため、補助金対象からは外れてしまった。

## 歳出

## 地域・環境

**問** 尾道市公式LINE登録者数の伸び率低下をどう分析しているか。

**答** 災害の発生時に大きく増加する傾向があるが、それ以外も減少はせず増加傾向にある。引き続き情報発信に努めていく。

**問** 町内会への補助金を世帯数で割った額と近隣他市との比較は。

**答** 1世帯当たりの平均は490円。自治会の捉え方や業務内容に差があるが、福山市645円、三原市1,155円、府中市662円である。

近隣の状況を参考にしながら尾道市の方向性について改めて検討したい。

**問** 古紙回収の仕組みは旧市町単位で違う。ごみ減量化推進の観点からも再資源化補助金を町内会単位で支給するほうが効果が高いのではないか。

**答** 旧尾道では、公衆衛生推進協議会を通して各地域に分配されている。この流れをすぐに変えることは難しいが、環境に対する意識を高め、CO2削減につなげるためにも検討はしたい。

**問** イノシシの駆除にAI(人工知能)を活用することについての市の考えは。

**答** 今年度はアニマルセンサーを導入した。その効果を検証するとともに情報収集に努め、捕獲の効率化と捕獲班員の負担軽減につながる先端技術の活用について引き続き検討していきたい。

アニマルセンサー



## 歳出

## 道路整備

**問** 都市計画道路久保長江線整備事業予算の減額要因と事業の進捗状況は。

**答** 減額は久保長江線(第2工区)の道路改良工事等の入札不調により施工できなかったため。今年度改めて予算計上し、本工区の早期完成に向けて事業の進捗を図る。

## 歳出

## 子育て・教育

**問** 子どもの居場所づくり事業における学習支援事業の目的や委託料について伺う。

**答** 生活困窮世帯等の子を対象に、貧困の連鎖を断ち切りすべての子が夢と希望を持ち成長できるよう学習習慣の定着や学習意欲の向上を目指して始めたものである。委託料は尾道会場で約579万5千円、因島会場で416万7千円であった。

**問** 保育士確保対策事業の実績とその評価は。

**答** 保育現場見学体験事業はコロナのため中止になったが、就労奨励事業では25名が新規で就労、早期復職サポート事業では8名が復職した。それぞれ事業効果が出ていると考えている。

**問** 小中学校空調設備整備事業において、市内経済活性化のため、市内業者へ優先発注されたか。

**答** この事業は令和元年の夏までに全小中学校の普通教室と音楽室にエアコンを設置することを目指したため、事前に設計を行う時間がなく、設計と施工を同時に行う発注形態となったが、可能な限り地域の事業者に対応いただいた。

## 歳出

## 介護

**問** 介護用品購入助成券交付事業に関わり、要介護認定者の総数は微増しているのに助成券交付人数が減少している要因は何か。

**答** 対象となる要介護3、4、5の方が近年減少傾向にあることが要因の一つだと考えている。

## 公営企業

## 病院事業会計

**問** 医師不足により従来できていた手術をほかの病院へ回したという例があるか。

**答** 予定した手術を他の機関へお願いした例はないが、搬送される患者で緊急手術が必要な際に医師の体制が整わないことで他の医療機関へお願いした例はあると思う。